

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
熊本電子ビジネス専門学校		昭和60年12月26日		真開純洋		〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人 未来創造学園		平成22年3月2日		吉山昌利		〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
工業	工業専門課程	ITビジネス科 (WEBデザイナーコース)				平成27年2月19日	-																		
学科の目的	本学科は、学校教育法に基づき、時代を生き抜く高い専門性と豊かな人間力の育成を行うと共に、Web制作などのクリエイティブスキルを習得させ、今後の社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。																								
認定年月日	平成28年2月19日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	2240時間	680時間	230時間	1330時間	0時間	0時間																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
80人	30人の内数	0人		1人	30人の内数	31人の内数																			
学期制度	■1学期:4月1日~9月30日 ■2学期:10月1日~3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験を主とし、出席状況、平常の学習状況、レポートの提出状況を加味し総合的に勘案して行う。																			
長期休み	■学年始:4月1日~4月8日 ■夏季:7月24日~8月31日 ■冬季:12月24日~1月8日 ■学年末:3月23日~3月31日				卒業・進級条件	・出席率が80%以上であること ・履修科目すべてに合格すること ・学校で定める卒業基準検定に合格すること																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 実習を通じ知識・技能を習得させ課題を提出させ修得を強化し、修得が悪い場合は補習授業を行う。				課外活動	■課外活動の種類 なし ■サークル活動: 無																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) Web制作会社、EC業界、DTP等 ■就職指導内容 ・面接指導・履歴書作成指導・業界セミナー開催を行い担任、就職課合同で学生をサポートする体制が整っている。 ■卒業者数 : 10 人 ■就職希望者数 : 10 人 ■就職者数 : 9 人 ■就職率 : 90 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 90 % ■その他 ・進学者数: 0人  (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>Webデザイナー検定</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>MOS Excel2010 Expert</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	色彩検定	③	10人	10人	Webデザイナー検定	③	10人	10人	MOS Excel2010 Expert	③	10人	10人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																						
色彩検定	③	10人	10人																						
Webデザイナー検定	③	10人	10人																						
MOS Excel2010 Expert	③	10人	10人																						
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成29年4月1日時点において、在学者 22名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者 22名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任による個別ガイダンス並びに保護者を交えた面談等				■中退率 0%																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 指定校推薦入学、特待生制度、奨学生制度、学生・社会人等支援制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0名																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																								
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.denbi.ac.jp">http://www.denbi.ac.jp</a>																								

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会は、就業先である情報処理の各業界で職務を遂行するために必要な、知識・技術・技能などについて分析し、専門課程に必要な授業科目・授業内容・方法の改善・工夫などについて提言を行う。その提言に基づき、本専門課程において、教育課程等の編成を行い、専門的、かつ実践的な職業教育を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校長は、ITビジネス科が編成した教育課程について教育課程編成委員会に諮問する。  
教育課程編成委員会は、組織運営規程第6条の定めにより、その編成内容を教育課程編成委員会規則第2条について審議し、学校長に改善案等を答申する。  
学校長はその答申を受け、答申内容を十分に活用し、実践的で専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成になるよう教務部長並びにITビジネス科に指示する。  
指示を受けた教務部長並びにITビジネス科は、改善案等の内容から短期的な取組み、中長期的な取組み毎に計画を立て、それを反映した教育課程の編成を行う。

なお、教育課程編成委員会規則第2条に定める以下の事項とする。

- ・業界における人材の専門性等の動向
- ・国又は地域の産業振興の方向性
- ・実務に必要な最新の知識・技術・技能
- ・その他、教育課程の編成に関連する事項

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林洋平	株式会社フルスケール デザイナー	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
伊藤寛通	画像情報教育振興協会 セクションチーフ	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	①
真開 純洋	熊本電子ビジネス専門学校 校長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
工藤茂登巳	熊本電子ビジネス専門学校 教務部長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
大西公伸	熊本電子ビジネス専門学校 ITビジネス科 主任	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、7月)

(開催日時(実績))

平成29年度 第1回 平成29年7月28日 11:20～12:50

平成29年度 第2回 平成30年3月12日 11:30～13:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

Web業界やクリエイティブ業界の動向を把握し授業科目や内容を検討する。また、専門技術に関する研修についてもアドバイスを頂き研修の選定に活かす。Webやデザインなど学生におススメの書籍を紹介して頂き教室に置くことで学生の意識改善につなげる。ITビジネス科で行っているWebデザインコンペのテーマ選定についてもアドバイス頂き検討している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

前半は、全体指導でデザインの四大原則やタイポグラフィなどの基本を学び、Webデザインの模写を繰り返すことでデザインのセオリーを習得させる。後半は、自ら考え制作する実践的な自主制作を中心に個別指導へと移行する。

Web業界の最前線で活躍中の方に講師をお願いすることで、学生にWebデザイナーに対する憧れと将来のイメージを持ってもらうことでモチベーションを維持し授業効果を高める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

担当教師と学科担当により授業毎に内容等についての打合せと学生状況を確認し、必要に応じて調整を行う。また、他の科目との連携や放課後の補習などで効果の拡大を図る。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
WebグラフィックスⅠ	デザインに関する基礎的な知識を習得し、基本的なデザインができるようにする。さらに与えられた課題を期限を守る事を学ぶ。	株式会社フルスケール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校法人未来創造学園熊本電子ビジネス専門学校教職員研修規程の定めに従い研修を行う。教職員に対して必要な知識、技能等を習得させることにより、その職責の遂行に必要な教職員の能力、資質の向上を図ることを目的とする。専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立て実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ブラッシュアップセミナー「デジタルなモノづくりの面白さ」

日程: 平成29年5月26日 14:00~15:30

講師: 株式会社テトラ

場所: 未来会議室 / 受講者: 1名

研修名: ブラッシュアップセミナー「クリエイティブ業界における学生と社会人の違い」

日程: 平成29年12月1日 14:00~15:30

講師: 株式会社レドット

場所: 未来会議室 / 受講者: 1名

研修名: サルでもわかる営業力マーケティング力養成講座

日程: 平成29年12月9日 18:30~20:30

講師: 株式会社おくりばんと / 場所: パレア / 受講者: 1名

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 学校法人未来創造学園 熊本電子ビジネス専門学校・熊本デザイン専門学校合同教員研修会

日程: 平成29年4月4日(火)

場所: 熊本デザイン専門学校

主催: 学校法人未来創造学園

内容: 「発達障がいの理解と支援について」

受講者: 全教職員

研修名: 学校法人未来創造学園 熊本電子ビジネス専門学校・熊本デザイン専門学校合同教員研修会

日程: 平成29年8月18日(金)

場所: 熊本デザイン専門学校

主催: 学校法人未来創造学園

内容: 「生きる力を育む授業の実践について」

受講者: 全教職員

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:ブラッシュアップセミナー「クリエイティブな考え方」

日程:平成30年6月15日(金)

講師:株式会社テクノモバイル

場所:未来会議室/受講者:1名

研修名:東京研修

日程:平成30年9月21日(金)~23日(日)

内容:テクノモバイル訪問(Webの受注から制作まで、制作現場の見学)と東京ゲームショウ(ゲーム業界の動向)/参加者:1名

研修名:誰でもわかるHTML5

場所:udemy(3.5時間のオンライン講座)

講師:アテイン株式会社

## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:学校法人未来創造学園 熊本電子ビジネス専門学校・熊本デザイン専門学校合同教員研修会

日程:平成30年8月3日(金)

場所:熊本デザイン専門学校

主催:学校法人未来創造学園

内容:「高大接続改革の現状と専門学校に期待すること」

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互いの理解を深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証すると共に、客観性・透明性等をより高め、公共性の高い社会に寄与する学校を目指すことを基本方針とする。

### (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

### (3)学校関係者評価結果の活用状況

学校運営については概ね良い評価をいただいたが、ネットワーク環境等の施設面で質問があった。授業の効率化、学生への利便性を高めるためにも改善を検討している。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
吉村 遵博	日本アルゴリズム株式会社 開発部マネージャ	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
有働 賢二	株式会社ぐるぐる 代表取締役	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
小林 洋平	株式会社フルスケール	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
山内 光代	株式会社産業開発研究所 取締役部長	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
玉城 直	熊本駅前ビル株式会社 ザ・ニューホテル熊本 執行役員副総支配人	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
藤本 稔	慶誠高等学校 参与	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	同守子校関係者委員
豊岡 ひとみ	在校生保護者	平成30年4月1日~平成32年3月31日(2年)	保護者委員

工藤知保	卒業生	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生委員
<p>※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  (例)企業等委員、PTA、卒業生等</p>			
<p>(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  (ホームページ・広報誌等の刊行物)  URL:<a href="http://www.denbi.ac.jp/">http://www.denbi.ac.jp/</a>  公表時期:平成30年10月1日</p>			
<p>5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係</p>			
<p>(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の学校運営状況に関する情報を提供することを基本方針とする。</p>			
<p>(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応</p>			
<p>ガイドラインの項目</p>		<p>学校が設定する項目</p>	
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載		
(2)各学科等の教育	ホームページ「学科・コース」に掲載		
(3)教職員	ホームページ「講師紹介」に掲載		
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職について」に掲載		
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校案内」に掲載		
(6)学生の生活支援	ホームページ「学校生活」に掲載		
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学について」並びに募集要項に掲載		
(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載		
(9)学校評価	ホームページ「自己点検・学校関係者評価」に掲載		
(10)国際連携の状況			
(11)その他			
<p>※(10)及び(11)については任意記載。</p>			
<p>(3)情報提供方法  (ホームページ・広報誌等の刊行物)  URL:<a href="http://www.denbi.ac.jp/">http://www.denbi.ac.jp/</a></p>			

## 授業科目等の概要

(工業専門課程ITビジネス科WEBデザイナーコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Web制作 I	HTMLとCSSを基礎から学びコーディングスキルを身に付ける。	1通	240	9		△	○	○		○		
○			Webリテラシー	コンセプトデザインから運用までWebに関する一般的な知識を身につける。	1通	80	3	○	△		○		○		
○			Webグラフィックス I	デザインに関する基礎的な知識を習得し、基本的なデザインができるようにする。さらに与えられた課題を期限を守る事を学ぶ。	1通	80	3	△	○		○			○	○
○			イラストレーション	デザインアイデアをすばやく描きとめる為のクロッキー力を身につける。比率、サイズに対する厳密な感覚を身につける。	1通	80	3	△	○		○			○	
○			色彩科学	色彩の基本知識からWebページや企画書作成の為に配色などを学ぶ。また、心理的効果やユニバーサルデザインについても学ぶ。	1通	80	3	○	△		○			○	
○			ネットショップリテラシー	通販の基礎知識や最新の関連法律・ECの動きなどを広く知ってもらい、学生の就職の幅を広げるのが主な目的	1通	80	3	○	△		○			○	
○			パソコン実習 I	Wordの基本機能の習得、および、Excelで基礎的な表計算処理の技術を習得する。	1通	160	5		△	○	○			○	
○			ビジネスマナー	ビジネスマナーやコミュニケーション能力の必要性を理解させ、基本動作（お辞儀・姿勢・歩き方など）ができるようにする。	1通	80	3	○	△		○			○	
○			社会人基礎 (NIE)	知る力、考える力、表現する力を身につけ、グループワークを通してコミュニケーション力の必要性を知る。	1前	28	1	○	△		○		○		
○			表現技法	履歴書を自己PRツールとして恥ずかしくないレベルにするとともに、目的や場面に応じた自己表現ができるようにする。	1後	42	2	○	△		○			○	
○			一般教養	数学、国語を中心に基礎学力の向上に努める。また、就職に対する不安を和らげ学生自身が納得できる就職を目指す。	1通	80	3	○	△		○		○		

○	Webデザイン 実習	バナーやページデザインの制作を繰り返し ながらデザインスキルをアップし、サイト 制作などの実践に移行していく。	1 通	80	2		△	○	○	○		
○	プログラミン グ基礎	JavaScriptの基本を身に付け、ロールオー バなどサイトで多用する効果を作れるよう になると共に、jQueryなどにも触れる。	1 通	80	2		△	○	○			○
○	Web制作Ⅱ	サイトの企画・制作、WordPressテーマの作 成、検索エンジン対策、スクリプトを用い た演出などのクリエイティブスキルを学 ぶ。	2 通	210	6		△	○	○			○
○	CMSサイト構 築	CMSを使用したサイトの構築方法を演習を通 して学ぶ。	2 通	140	4		△	○	○			○
○	Webマーケ ティング	Webマーケティングの手法を学ぶ。後半は実 践的なウェブマーケティングの方法論や ワークショップで理解を深める。	2 通	140	6	○	△		○			○
○	DTP実習	DTP製作物の作成方法とその活用の学習。 Illustratorの操作をマスターし、POPやチ ラシの制作などを行えるようになることが 目標。	2 通	70	2		△	○	○			○
○	パソコン実習 Ⅱ	ワープロや表計算検定の上位級やMOSの取得 を目指しつつ、SNSやクラウドの活用方法な どについても学ぶ。	2 通	140	4		△	○	○			○
○	プレゼンテー ション実習	パワーポイント等の操作だけでなく、各種 テーマでの発表を繰り返し行うことで資料 制作や発表に慣れる。また、MOSの取得も目 指す。	2 通	70	2		△	○	○			○
○	キャリアビ ジョン	自己理解、職業理解からキャリアデザイン 全体を理解し、各々の成長を促し就職活動 につなげる。	2 通	70	3	△	○		○			○
○	ビジネス実務	Eメール、電話対応、名刺交換、慶弔のマ ナーなど実社会で必要とされるビジネスマ ナーを身につける。	2 通	70	3	○	△		○			○
○	Webグラ フィックスⅡ	ウェブグラフィック制作の深い理解とテク ニックの習得を目指し、ページやバナー関 連のデザイン、タイポグラフィーの理解を 徹底する。	2 通	70	2		△	○	○			○
○	Webプログラ ミング	PHPを基礎から学びメールフォームやアン ケートフォームなどコーポレートサイト制 作に必要な技術を学ぶ。	2 通	70	2		△	○	○			○
合計			23科目			2240単位時間(76単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合  
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
熊本電子ビジネス専門学校		昭和60年12月26日		真開純洋		〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人 未来創造学園		平成22年3月2日		吉山昌利		〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目2-38 (電話) 096-362-5656																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
工業	工業専門課程	ITビジネス科 (ネットショップコース)				平成27年2月19日	-																		
学科の目的	本学科は、学校教育法に基づき、時代を生き抜く高い専門性と豊かな人間力の育成を行うと共に、Web制作などのクリエイティブスキルを習得させ、今後の社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。																								
認定年月日	平成28年2月19日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	2240時間	680時間	230時間	1330時間	0時間	0時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
80人		30人の内数	1人	1人	30人の内数	31人の内数																			
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験を主とし、出席状況、平常の学習状況、レポートの提出状況を加味し総合的に勘案して行う。																			
長期休み	■学年始:4月1日～4月8日 ■夏季:7月24日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月8日 ■学年末:3月23日～3月31日				卒業・進級条件	・出席率が80%以上であること ・履修科目すべてに合格すること ・学校で定める卒業基準検定に合格すること																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 実習を通じ知識・技能を習得させ課題を提出させ修得を強化し、修得が悪い場合は補習授業を行う。				課外活動	■課外活動の種類 なし ■サークル活動: 無																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) Web制作会社 ■就職指導内容 ・面接指導・履歴書作成指導・業界セミナー開催を行い担任、就職課合同で学生をサポートする体制が整っている。 ■卒業生数 : 1 人 ■就職希望者数 : 1 人 ■就職者数 : 1 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (平成 29 年度卒業者に関する 平成30年5月1日 時点の情報)				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>Webデザイナー検定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>MOS Excel2010 Expert</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	色彩検定	③	1人	1人	Webデザイナー検定	③	1人	1人	MOS Excel2010 Expert	③	1人	1人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																						
色彩検定	③	1人	1人																						
Webデザイナー検定	③	1人	1人																						
MOS Excel2010 Expert	③	1人	1人																						
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成29年4月1日時点において、在学者 1名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者 1名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の原因 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任による個別ガイダンス並びに保護者を交えた面談等																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 指定校推薦入学、特待生制度、奨学生制度、学生・社会人等支援制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0名																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																								
当該学科のホームページURL	http://www.denbi.ac.jp																								

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会は、就業先である情報処理の各業界で職務を遂行するために必要な、知識・技術・技能などについて分析し、専門課程に必要な授業科目・授業内容・方法の改善・工夫などについて提言を行う。その提言に基づき、本専門課程において、教育課程等の編成を行い、専門的、かつ実践的な職業教育を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

学校長は、ITビジネス科が編成した教育課程について教育課程編成委員会に諮問する。  
教育課程編成委員会は、組織運営規程第6条の定めにより、その編成内容を教育課程編成委員会規則第2条について審議し、学校長に改善案等を答申する。  
学校長はその答申を受け、答申内容を十分に活用し、実践的で専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成になるよう教務部長並びにITビジネス科に指示する。  
指示を受けた教務部長並びにITビジネス科は、改善案等の内容から短期的な取組み、中長期的な取組み毎に計画を立て、それを反映した教育課程の編成を行う。

なお、教育課程編成委員会規則第2条に定める以下の事項とする。

- ・業界における人材の専門性等の動向
- ・国又は地域の産業振興の方向性
- ・実務に必要な最新の知識・技術・技能
- ・その他、教育課程の編成に関連する事項

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
小林洋平	株式会社フルスケール デザイナー	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
伊藤寛通	画像情報教育振興協会 セクションチーフ	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	①
真開 純洋	熊本電子ビジネス専門学校 校長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
工藤茂登巳	熊本電子ビジネス専門学校 教務部長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	
大西公伸	熊本電子ビジネス専門学校 ITビジネス科 主任	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、7月)

(開催日時(実績))

平成29年度 第1回 平成29年7月28日 11:20～12:50

平成29年度 第2回 平成30年3月12日 11:30～13:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

Web業界やクリエイティブ業界の動向を把握し授業科目や内容を検討する。また、専門技術に関する研修についてもアドバイスを頂き研修の選定に活かす。Webやデザインなど学生におススメの書籍を紹介して頂き教室に置くことで学生の意識改善につなげる。ITビジネス科で行っているWebデザインコンペのテーマ選定についてもアドバイス頂き検討している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

前半は、全体指導でデザインの四大原則やタイポグラフィなどの基本を学び、Webデザインの模写を繰り返すことでデザインのセオリーを習得させる。後半は、自ら考え制作する実践的な自主制作を中心に個別指導へと移行する。

Web業界の最前線で活躍中の方に講師をお願いすることで、学生にWebデザイナーに対する憧れと将来のイメージを持ってもらうことでモチベーションを維持し授業効果を高める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

担当教師と学科担当により授業毎に内容等についての打合せと学生状況を確認し、必要に応じて調整を行う。また、他の科目との連携や放課後の補習などで効果の拡大を図る。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
WebグラフィックスⅠ	デザインに関する基礎的な知識を習得し、基本的なデザインができるようにする。さらに与えられた課題を期限を守る事を学ぶ。	株式会社フルスケール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校法人未来創造学園熊本電子ビジネス専門学校教職員研修規程の定めに従い研修を行う。  
教職員に対して必要な知識、技能等を習得させることにより、その職責の遂行に必要な教職員の能力、資質の向上を図ることを目的とする。専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立て実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。  
研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ブラッシュアップセミナー「デジタルなモノづくりの面白さ」

日程: 平成29年5月26日 14:00~15:30

講師: 株式会社テトラ

場所: 未来会議室 / 受講者: 1名

研修名: ブラッシュアップセミナー「クリエイティブ業界における学生と社会人の違い」

日程: 平成29年12月1日 14:00~15:30

講師: 株式会社レドット

場所: 未来会議室 / 受講者: 1名

研修名: サルでもわかる営業力マーケティング力養成講座

日程: 平成29年12月9日 18:30~20:30

講師: 株式会社おくりばんと / 場所: パレア / 受講者: 1名

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 学校法人未来創造学園 熊本電子ビジネス専門学校・熊本デザイン専門学校合同教員研修会

日程: 平成29年4月4日(火)

場所: 熊本デザイン専門学校

主催: 学校法人未来創造学園

内容: 「発達障がいの理解と支援について」

受講者: 全教職員

研修名: 学校法人未来創造学園 熊本電子ビジネス専門学校・熊本デザイン専門学校合同教員研修会

日程: 平成29年8月18日(金)

場所: 熊本デザイン専門学校

主催: 学校法人未来創造学園

内容: 「生きる力を育む授業の実践について」

受講者: 全教職員

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:ブラッシュアップセミナー「クリエイティブな考え方」

日程:平成30年6月15日(金)

講師:株式会社テクノモバイル

場所:未来会議室/受講者:1名

研修名:東京研修

日程:平成30年9月21日(金)~23日(日)

内容:テクノモバイル訪問(Webの受注から制作まで、制作現場の見学)と東京ゲームショウ(ゲーム業界の動向)/参加者:1名

研修名:誰でもわかるHTML5

場所:udemy(3.5時間のオンライン講座)

講師:アテイン株式会社

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:未来創造学園教職員研修会

日程:平成30年8月3日(金)13:30~16:30

場所:熊本デザイン専門学校

内容:高大接続改革の現状と専門学校に期待すること

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互いの理解を深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証すると共に、客観性・透明性等をより高め、公共性の高い社会に寄与する学校を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校運営については概ね良い評価をいただいたが、ネットワーク環境等の施設面で質問があった。授業の効率化、学生への利便性を高めるためにも改善を検討している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
吉村 遵博	日本アルゴリズム株式会社 開発部マネージャ	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
有働 賢二	株式会社ぐるぐる 代表取締役	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
小林 洋平	株式会社フルスケール	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
山内 光代	株式会社産業開発研究所 取締役部長	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
玉城 直	熊本駅前ビル株式会社 ザ・ニューホテル熊本 執行役員副総支配人	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	企業等委員
藤本 稔	慶誠高等学校 参与	平成29年4月1日~平成31年3月31日(2年)	同寺子校関係者委員
豊岡 ひとみ	在校生保護者	平成30年4月1日~平成32年3月31日(2年)	保護者委員

工藤知保	卒業生	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生委員																								
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等																											
(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 (ホームページ・広報誌等の刊行物) URL: <a href="http://www.denbi.ac.jp/">http://www.denbi.ac.jp/</a> 公表時期:平成30年10月1日																											
5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係																											
(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針 企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の学校運営状況に関する情報を提供することを基本方針とする。																											
(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="142 758 776 794">ガイドラインの項目</th> <th data-bbox="776 758 1727 794">学校が設定する項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="142 794 776 831">(1)学校の概要、目標及び計画</td> <td data-bbox="776 794 1727 831">ホームページ「学校案内」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 831 776 868">(2)各学科等の教育</td> <td data-bbox="776 831 1727 868">ホームページ「学科・コース」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 868 776 905">(3)教職員</td> <td data-bbox="776 868 1727 905">ホームページ「講師紹介」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 905 776 942">(4)キャリア教育・実践的職業教育</td> <td data-bbox="776 905 1727 942">ホームページ「就職について」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 942 776 979">(5)様々な教育活動・教育環境</td> <td data-bbox="776 942 1727 979">ホームページ「学校案内」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 979 776 1015">(6)学生の生活支援</td> <td data-bbox="776 979 1727 1015">ホームページ「学校生活」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 1015 776 1052">(7)学生納付金・修学支援</td> <td data-bbox="776 1015 1727 1052">ホームページ「入学について」並びに募集要項に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 1052 776 1089">(8)学校の財務</td> <td data-bbox="776 1052 1727 1089">ホームページ「財務情報」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 1089 776 1126">(9)学校評価</td> <td data-bbox="776 1089 1727 1126">ホームページ「自己点検・学校関係者評価」に掲載</td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 1126 776 1163">(10)国際連携の状況</td> <td data-bbox="776 1126 1727 1163"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="142 1163 776 1200">(11)その他</td> <td data-bbox="776 1163 1727 1200"></td> </tr> </tbody> </table>				ガイドラインの項目	学校が設定する項目	(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載	(2)各学科等の教育	ホームページ「学科・コース」に掲載	(3)教職員	ホームページ「講師紹介」に掲載	(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職について」に掲載	(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校案内」に掲載	(6)学生の生活支援	ホームページ「学校生活」に掲載	(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学について」並びに募集要項に掲載	(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載	(9)学校評価	ホームページ「自己点検・学校関係者評価」に掲載	(10)国際連携の状況		(11)その他	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目																										
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載																										
(2)各学科等の教育	ホームページ「学科・コース」に掲載																										
(3)教職員	ホームページ「講師紹介」に掲載																										
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職について」に掲載																										
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校案内」に掲載																										
(6)学生の生活支援	ホームページ「学校生活」に掲載																										
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学について」並びに募集要項に掲載																										
(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載																										
(9)学校評価	ホームページ「自己点検・学校関係者評価」に掲載																										
(10)国際連携の状況																											
(11)その他																											
※(10)及び(11)については任意記載。																											
(3)情報提供方法 (ホームページ・広報誌等の刊行物) URL: <a href="http://www.denbi.ac.jp/">http://www.denbi.ac.jp/</a>																											

授業科目等の概要

(工業専門課程ITビジネス科ネットショップコース) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Web制作 I	HTMLとCSSを基礎から学びコーディングスキルを身に付ける。	1通	240	9		△	○	○		○		
○			Webリテラシー	コンセプトデザインから運用までWebに関する全般的な知識を身につける。	1通	80	3	○	△		○		○		
○			Webグラフィックス I	デザインに関する基礎的な知識を習得し、基本的なデザインができるようにする。さらに与えられた課題を期限を守る事を学ぶ。	1通	80	3	△	○		○			○	○
○			イラストレーション	デザインアイデアをすばやく描きとめる為のクロッキー力を身につける。比率、サイズに対する厳密な感覚を身につける。	1通	80	3	△	○		○			○	
○			色彩科学	色彩の基本知識からWebページや企画書作成の為の配色などを学ぶ。また、心理的效果やユニバーサルデザインについても学ぶ。	1通	80	3	○	△		○			○	
○			ネットショップリテラシー	通販の基礎知識や最新の関連法律・ECの動きなどを広く知ってもらい、学生の就職の幅を広げるのが主な目的	1通	80	3	○	△		○			○	
○			パソコン実習 I	Wordの基本機能の習得、および、Excelで基礎的な表計算処理の技術を習得する。	1通	160	5		△	○	○			○	
○			ビジネスマナー	ビジネスマナーやコミュニケーション能力の必要性を理解させ、基本動作（お辞儀・姿勢・歩き方など）ができるようにする。	1通	80	3	○	△		○			○	
○			社会人基礎 (NIE)	知る力、考える力、表現する力を身につけ、グループワークを通してコミュニケーション力の必要性を知る。	1前	28	1	○	△		○		○		
○			表現技法	履歴書を自己PRツールとして恥ずかしくないレベルにするとともに、目的や場面に応じた自己表現ができるようにする。	1後	42	2	○	△		○			○	
○			一般教養	数学、国語を中心に基礎学力の向上に努める。また、就職に対する不安を和らげ学生自身が納得できる就職を目指す。	1通	80	3	○	△		○		○		

○	ネットショップ運営Ⅰ	模擬店舗を使ったオペレーションでECサイト運営の流れを学び、後期は実際にサイトの運営を行う。	1通	160	5		△	○	○	○			
○	Web制作Ⅱ	サイトの企画・制作、WordPressテーマの作成、検索エンジン対策、スクリプトを用いた演出などのクリエイティブスキルを学ぶ。	2通	210	6		△	○	○	○			
○	CMSサイト構築	CMSを使用したサイトの構築方法を演習を通して学ぶ。	2通	140	4		△	○	○				○
○	Webマーケティング	Webマーケティングの手法を学ぶ。後半は実践的なウェブマーケティングの方法論やワークショップで理解を深める。	2通	140	6	○	△		○				○
○	DTP実習	DTP製作物の作成方法とその活用の学習。Illustratorの操作をマスターし、POPやチラシの制作などを行えるようになることが目標。	2通	70	2		△	○	○				○
○	パソコン実習Ⅱ	ワープロや表計算検定の上位級やMOSの取得を目指しつつ、SNSやクラウドの活用方法などについても学ぶ。	2通	140	4		△	○	○				○
○	プレゼンテーション実習	パワーポイント等の操作だけでなく、各種テーマでの発表を繰り返し行うことで資料制作や発表に慣れる。また、MOSの取得も目指す。	2通	70	2		△	○	○				○
○	キャリアビジョン	自己理解、職業理解からキャリアデザイン全体を理解し、各々の成長を促し就職活動につなげる。	2通	70	3	△	○		○				○
○	ビジネス実務	Eメール、電話対応、名刺交換、慶弔のマナーなど実社会で必要とされるビジネスマナーを身につける。	2通	70	3	○	△		○				○
○	ネットショップ運営Ⅱ	ネットショップを企画・制作し、改善しながら運営を行う。	2通	140	4		△	○	○				○
合計			21科目			2240単位時間(77単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。